

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	天竜福祉工場
住 所	浜松市浜名区於呂4201-9
電話番号	053-583-1131

事業所番号	2217260013
管理者名	井上 裕一
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要																								
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>【活動場所】 静岡県浜松市天竜区青谷1461番地 浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 破砕セクター</p> <p>【実施日程】 令和6年4月1日より週5日の本稼働となった(年間240日稼働)</p> <p>【実施した生産活動・施設外就労の概要】 浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 施設整備運営事業の破砕セクター運転・維持管理におけるプラスチック製容器包装処理運転の手選別業務(請負業務)</p> <p>【利用者数】 15人/日</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>【地域連携活動のねらい】 清掃工場開設に伴い、浜松市として地元地域に根付いた会社への協力を求め、共生社会に向けて障がいがある方への働き先の開拓を念頭に平成29年から協議されてきた。今回当事業所が受託し、浜松市と運営会社(請負業者)と連携しながら、浜松市の活性化に繋げていくこととなった。</p> <p>【地域にとってのメリット】 一般の方や小・中学生等の見学を多く受入れ、ごみの分別に関する理解促進に努めることが出来る。</p> <p>【対象者にとってのメリット】 収益増、事業内容の幅広い展開、従業員の賃金アップ等</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>【実施した結果・得られた成果】 リサイクル製品の質の担保のため年に一度、日本容器包装リサイクル協会によるペール品質調査が行われるが、令和6年11月に実施された調査では最も良いA判定を受けることができた。</p> <p>【課題点】 作業の理解度を高めていくために研修や個別指導を行っているが、個々の能力や集中力には差があるため、すぐの作業能力向上にはつながらない場合もある。粘り強い関わりが必要となる。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>コンベアから流れてくるプラスチックごみの中から不適物(びん、かん、ペットボトル、金属、ガラス、木くず、汚れているもの、生ごみ、プラスチック製品、ごみの収集袋)を取り除きます。</p>   <p>分別され再生工場に持っていく前段階で、ペールの検査が定期的実施されます。</p>   <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">ランク判定基準</th> <th>評価項目</th> <th>破砕度評価</th> <th>容器包装比率評価</th> <th>禁忌品有無評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Aランク</td> <td>未破袋の袋の投入率</td> <td>0.2割/kg未満</td> <td>90%以上</td> <td rowspan="3">無</td> </tr> <tr> <td>Bランク</td> <td></td> <td>0.2割以上~0.4割未満/kg</td> <td>85%以上 90%未満</td> </tr> <tr> <td>Dランク</td> <td></td> <td>0.4割以上/kg</td> <td>85%未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ランク判定結果</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	ランク判定基準	評価項目	破砕度評価	容器包装比率評価	禁忌品有無評価	Aランク	未破袋の袋の投入率	0.2割/kg未満	90%以上	無	Bランク		0.2割以上~0.4割未満/kg	85%以上 90%未満	Dランク		0.4割以上/kg	85%未満	ランク判定結果		A	A	A
ランク判定基準	評価項目		破砕度評価	容器包装比率評価	禁忌品有無評価																			
	Aランク		未破袋の袋の投入率	0.2割/kg未満	90%以上	無																		
	Bランク		0.2割以上~0.4割未満/kg	85%以上 90%未満																				
Dランク		0.4割以上/kg	85%未満																					
ランク判定結果		A	A	A																				

連携先の企業等の意見または評価			
<p>【連携した結果に対する意見または評価】 本事業の供用開始より1年間の運営を終え、実績をS(安全)Q(品質)D(納期)C(コスト)の基準から後述の通り評価する。就労者の皆様が事故・怪我無く作業を行えたことは(安全)な工場操業の成果と言える。(品質)については外部機関の品質検査を高い評価でクリアすることができた。地域から収集される資源ごみの搬入量に対し、処理遅滞なく安定した操業ができ(納期)についても本事業の要求を満たしている。清掃備品や保護具等についても適切な維持・管理を行って頂き当初計画通りの(コスト)で運営が実現できた。これらの実績は福祉法人関係各位の取り組みの成果である。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】 初年度の操業経験を踏まえ、安全な作業環境の整備のほか、ヒューマンエラー防止を目的とした安全教育の強化に取り組む。こうした附帯活動を進めるには、福祉法人の事務方、職員方のご協力が不可欠であり、連携して進めたい。併せて、容器包装プラスチックの厳しい品質基準を継続的に満たすため、作業者各位の分別理解度を向上させる取り組みが必要と捉えている。また、新たな作業日報の運用を開始し作業実績をデータ化していく。ノウハウを蓄積により、処理体制を強化し事業の安定に繋げていく。</p>			
連携先企業名	新明和工業株式会社	担当者名	大山 啓介